



まちの話題

Town topics

トピックス

広報誌で紹介した写真を
希望者に提供します。

●お申し込み●
秘書課広報広聴係 ☎ 3-3069 へ



雨にも負けず 「あそ雪の広場」

実行委員会が主催し、約 60 団体の協賛を得て阿蘇公園を中心に開催された「第 22 回あそ雪の広場」。町建設協会が製作した巨大ふくろうの滑り台に終日子ども達の歓声が上がり、各団体が製作した雪像が会場を取り巻き、2 日間で延べ 1 万人が冬のイベントを楽しみました。

特設ステージでは、子どもジャズダンスの発表とふとみ元風会のヨサコイソーランの寒さを吹き飛ばす元気な踊りの披露や、雪像をバックに冬の夜空を彩る花火大会などが行われ、飲食コーナーでは、いも団子汁やそば・うどんなど温かい食べ物で体を温める人達であふれました。

「躍動」がテーマの雪像コンクール表彰式には個人や団体が作った雪像 14 点がスクリーンで紹介され、大賞には河村工業㈱が製作した「龍」が選ばれました。

2 日目は、降りしきる雨で舗装道路が顔をのぞく中、シャンシャン馬ソリの阿蘇公園会場からまちの駅「アウル」までの運行やスノーモビル試乗に子ども達の人気を集まり、何回も列に並ぶ姿が見られました。閉会式後に行われた恒例の餅まちは、子どもも大人も夢中に餅を拾い冬の祭典が終了しました。

(2 月 14 日・15 日)



見事大賞に輝いた
河村工業㈱の作品「龍」



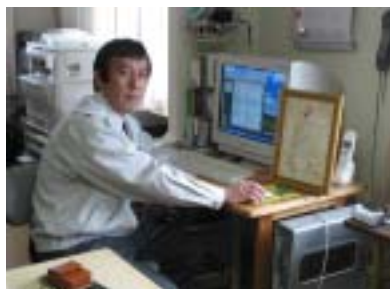
ふくろうに集い、遊び、学ぶ



当別ふくろうの会（大津正一会長）が2月9日をふくろう記念日として1週間開催した今年で3回目の「当別ふくろう展」。「あえ～る」会場には、ふくろうにちなんだ写真や彫刻、小物など、当別郵便局会場には、渡辺高幸さん（札幌市在住）のコレクションした800点にも及ぶふくろうグッズが展示されました。

また、11日には「あえ～る」2階会場で「童謡、唱歌を歌いましょう」が開催されました。参加した町民は、歌にまつわるエピソードと共に「どんぐりころころ」や「ふるさと」などの童謡を、なるさわゆみさん（アコーディオン奏者）の伴奏に合わせて歌い、昔を懐かしみました。（2月9日～15日）

電気保安業務でISO9001を取得



町内で電気管理技術事務所を運営している宮中邦夫さん（西町）が、電気設備保安管理業務におけるISO 9001（品質マネジメントシステムの国際規格）を取得しました。

町内外個人事業主15人でグループを結成して宮中さんが代表を勤め、昨年の8月から週1回の会議を重ね、1月に審査登録機関「TQCSI」の最終審査に合格し今回の取得となりました。

グループ取得は道内では初めてで、全国でも数件の取得実績があるだけです。

取得にあたっては、グループの優位性を活かし各個人が持っている知識を最大限活用し、品質マニュアルや文書管理手順書を綿密に議論しながら作成しました。

宮中さんは「より良いサービスを目指している。取得が目的でなくスタートと思っている。今後もお客さんの視点で仕事をしたい」と話していました。（2月10日）

豆まきで弱虫鬼を退治



南季節保育所（川村あつ子所長・30人）の児童達は、保育士が扮した鬼に向かって「鬼は外！」と元気な声で豆を勢いよくぶつけて鬼退治。鬼に驚いて逃げ出す子がいるなどホール内はにぎやかでした。

また、ティッシュの箱や紙袋の面をかぶったちびっこ鬼が、保育士のぶつける豆に「泣き虫鬼・いいつけ鬼いなくなれ」と悪い鬼を追い払いました。（2月3日）

手作り味噌のお味は？



JA北いしかり西当別ブロック女性部（石田まさ子部長）は初めて味噌づくりに取り組みました。

今回挑戦した無添加の自家製味噌は獅子内的大豆と高岡のお米で作ったこうじを使用しており、圧力鍋でふっくら茹で上がった大豆をすりつぶし、こうじと混ぜて専用容器に仕込みました。半年ほど寝かすと程よく出来あがるそうで、参加した女性部員も「半年後が楽しみ」と、自家製味噌の仕込みに満足げでした。（2月12日）